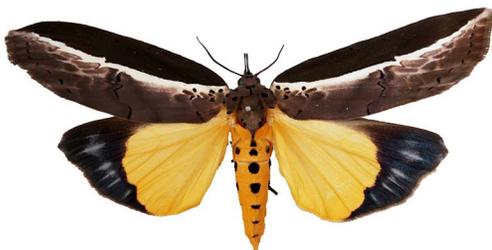


播磨地方西部におけるシンジュキノカワガの記録

池田 大・阪上 洸多

シンジュキノカワガ *Eligma narcissu* (Cramer, 1775) はコブガ科シンジュキノカワガ亜科に属し、大型美麗種であることから収集家に人気の高い蛾である。本種はこれまで、中国原産で低気圧や前線などの自然現象により日本に飛来する「偶産蛾」であるとされてきた(宮田, 1986)。しかし最近では、寄主植物であるシンジュ(ニワウルシ) *Ailanthus altissima* Swingle の移入にともなって日本に二次的に侵入したと推定されている(岸田, 2011)。国内では北海道, 本州, 四国, 九州, 対馬(岸田, 2011), 淡路島(高島, 2001), 隠岐(大浜, 2008)に記録がある。しかし、いずれの産地も偶発的な記録であることから、定着していない可能性が高い。これまで兵庫県内では西宮市甲子園, 高砂市, 和田山町(現・朝来市和田山町)久世田, 関宮町(現・養父市関宮)鉢伏高原, 柏原町(現・丹波市)柏原, 南淡町(現・南あわじ市)阿万上町での記録(高島, 2001)がある他、最近では神戸市須磨区(小西, 2009)および伊丹市昆陽池町(安達, 2010)で記録がある。筆者らはこれまで記録のない播磨地方西部において本種を採集しているので報告する。



1ex., 19-20. XI. 2011, 佐用郡佐用町船越(ライトトラップ), 池田採集保管(写真)

1ex., 9. XI. 2015, 宍粟市音水溪谷(ライトトラップ), 阪上採集保管

佐用町の個体は、佐用町昆虫館のむしむし広場の上にある草原で行ったライトトラップに飛来した新鮮な個体を採集した(ライトトラップは夕方から翌明け方まで設営)。採集当日は異常に気温の高い日であり、他の蛾類も多く飛来していた。

宍粟市の個体は、溪谷の林内で行ったライトトラップに飛来した新鮮な個体を採集した。今回記録する採集地点では、いずれも筆者の目の届く範囲ではシンジュは見られず、どのような経路で飛来したのか不明である。しかし新鮮な個体であったことから、どちらも採集地点の近くで発生した可能性が高い。

○参考文献

安達誠文, 2010. 伊丹市昆陽池町で発生したシンジュキノカワガ. きべりはむし, 32 (2) : 7-8  
 岸田泰則, 2011. 日本産蛾類標準図鑑 II, 189pp. 学習研究社, 東京.  
 小西堯生, 2009. 神戸市須磨区でシンジュキノカワガを採集. きべりはむし, 32 (1) : 63  
 牧野富太郎, 2000. 新訂 牧野新日本植物図鑑. 北隆館, 東京.  
 宮田彬, 1986. 日本の昆虫 4 シンジュキノカワガ, 文一総合出版.  
 大浜祥司, 2008. 真冬にシンジュキノカワガを隠岐で採集. すかしば, (56) : 18  
 高島昭, 2001. 兵庫県のキノカワガ亜科・リングア亜科・サラサリングア亜科(兵庫県産蛾類分布資料・23). きべりはむし, 29 (2) : 40-49

(Hiroshi IKEDA 愛媛大学農学部)  
 (Kôta SAKAGAMI 神戸大学農学部)

短報の訂正と補遺

きべりはむし編集委員

前号に掲載した阪上 洸多さんの短報『兵庫県下で記録の少ないヤガ科3種の三田市における採集記録』のチビウスキヨトウの解説の「兵庫県内では南淡町での記録のみが知られていた」との記述に対し、こどもとむしの会正会員の谷田昌也さんから大貝(2013)に上郡町高田台での記録が報告されているとのご指摘をいただきました。この場で記録情報の追加と訂正をいたします。

○参考文献

大貝秀雄, 2013. 兵庫県で採集した注目すべき蛾2種. 月刊むし, 509: 48